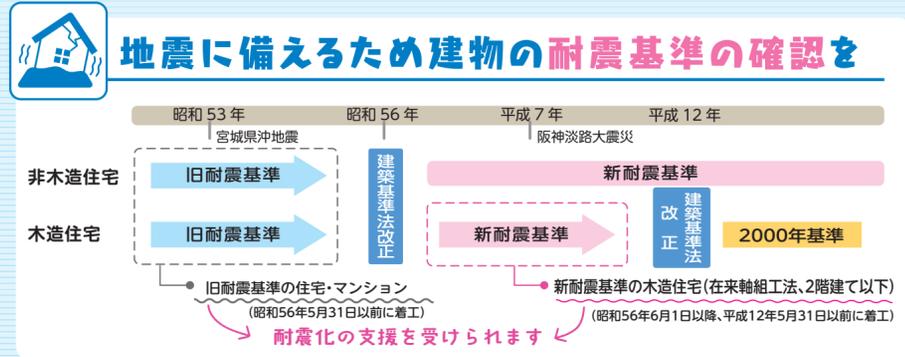


災害に強いまちを目指して

～建物の耐震化を～

次期耐震改修促進計画を策定中

建築物の耐震化を計画的かつ総合的に促進することを目的に、令和8年度からの促進計画を今年度に策定します。



建物の耐震化に関する助成制度と助成割合

※記載の費用は上限額です

基準	対象	助成割合				
		耐震アドバイザー派遣(簡易診断)	耐震診断	補強設計	耐震改修	建替えに伴う除却
旧耐震基準	木造住宅(戸建・長屋)	無料	費用の2/3 15万円	耐震改修に含む	費用の1/2 80万円	費用の23% 80万円
	分譲マンション	無料	費用の10/10 100万円	費用の10/10 200万円	費用の1/3 または23% 2000万円	費用の1/3 または23% 2000万円
	特定緊急輸送道路	-	費用の10/10 延べ面積による 上限額あり	費用の9/10 5億1200万円	費用の10/10 延べ面積による 上限額あり	費用の5/6 4億5040万円
	一般緊急輸送道路	費用の9/10 延べ面積による 上限額あり	費用の5/6 延べ面積による 上限額あり	費用の5/6 5億1200万円	費用の5/6 延べ面積による 上限額あり	-
新耐震基準	木造住宅(戸建・長屋)	無料	費用の2/3 15万円	耐震改修に含む	費用の1/2 80万円	-
	分譲マンション	無料	費用の10/10 100万円	費用の10/10 200万円	費用の1/3 または23% 2000万円	費用の1/3 または23% 2000万円

擁壁・がけの安全化に関する支援

市では、地震・集中豪雨などによる家屋や宅地への土砂災害を未然に防ぐため、擁壁・がけの所有者などに安全対策に関する助言を行う専門家派遣、安全対策工事に係る費用の一部を助成しています。

※記載の費用は上限額です

対象	区分	擁壁の高さ		対策工事助成割合
		2m超3m未満	3m以上5m未満	
擁壁・がけ(2m超)	無料	・擁壁の下端から高さの2倍の範囲内に道路がある	200万円	工事費の1/2
		・土砂災害警戒区域等内にある	400万円	
	上記以外	・擁壁の高さが5m以上	500万円	工事費の1/3
		2m超3m未満	100万円	
土砂災害警戒区域等	無料	3m以上4m未満	200万円	1000万円
		4m以上5m未満	300万円	

ブロック塀などの対策

■ブロック塀等撤去等工事費助成金
地震の発生時にブロック塀などの倒壊による事故を防ぐため、道路に面するブロック塀などの撤去や建替工事に係る費用の一部を助成します。

■生垣等設置補助金
ブロック塀などを撤去して生け垣を作る場合は、ブロック塀などの撤去工事と生け垣の設置工事にかかる費用の一部を助成します。

※接道、延長などの条件あり

区分/助成割合	ブロック塀撤去費	撤去に伴う新設工事費
ブロック塀	費用の1/2 上限10万円	費用の1/2 上限10万円
生け垣設置	上限 1万円/m	上限 1万円/m

耐震シェルター助成

地震発生時に住宅の倒壊から高齢者・障害者の命を守ることを目的として、市内の耐震性が不十分な木造住宅の1階に耐震シェルターを設置する費用の一部を助成します。

●シェルターの例

区分/助成割合	設置費
旧耐震基準等木造住宅(戸建等)	費用の9/10 上限30万円

耐震診断義務付け対象の建物

2013年(平成25年)の耐震改修促進法の改正では、次の建築物の所有者に対して耐震診断を実施し、その診断結果を報告することを義務付けています。

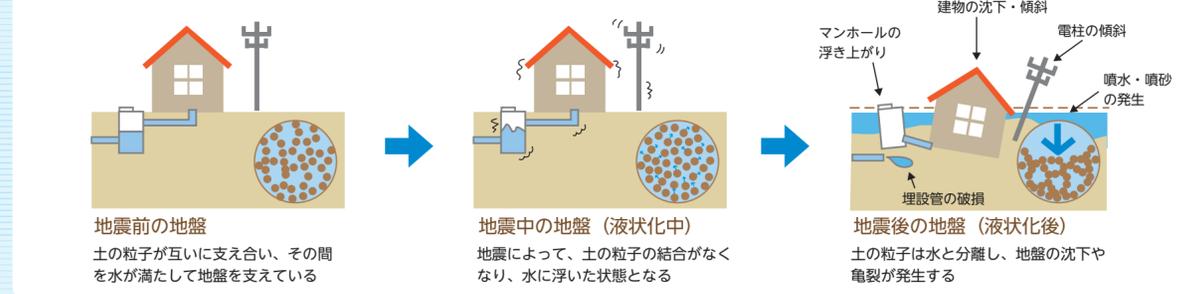
- 対象建築物(耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表)
 - 要緊急安全確認大規模建築物
病院、店舗、施設などの不特定多数が利用する建物や学校、老人ホームなど避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの
例/幼稚園・保育園、小・中学校、老人ホーム、ホテル・旅館、美術館・図書館など
 - 要安全確認計画記載建築物
避難路沿道建築物
都道府県または市町村が指定する緊急輸送道路建築物であって、一定の高さ以上のもの
 - 防災拠点建築物
都道府県が指定する庁舎、避難所などの防災拠点建築物

液状化の対策・支援

液状化の知識を深め、地盤の状況を把握して、専門家に相談しながら、備えましょう。

■東京都液状化対策アドバイザー制度(無料)
所有者が気になる問題に専門的な知識を持つ建築士がお応えします。

■液状化判定調査費用補助制度(東京都)
地盤の液状化の可能性を把握するための調査に要する費用の一部を助成します。



CHECK! 長期評価による地震発生確率値の更新

国の地震調査委員会は、これまで南海トラフ地震の発生確率は30年以内に「70%~80%」としていましたが、2025年1月に「80%程度」への引き上げを発表しました。

CHECK! 擁壁・がけマップ

お住まいの地域の擁壁・がけの確認や安全性のチェック、市で行っている擁壁・がけの安全化対策に向けた支援などをご案内しています。

CHECK! ご自宅のブロック塀は大丈夫? 今すぐブロック塀などの点検を!

危険なブロック塀などを放置すると、地震時に倒壊して、人に危害を加えてしまうほか、避難や救助の妨げになる場合があります。この機会に、塀の安全性を点検し、危険と思われるときは専門家に相談しましょう。

CHECK! 液状化現象とは

地震が発生して地盤が強い衝撃を受けると、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象